

来月から健康サポート

AMD Aなど 日越シンポで発表

外国人労働者の受け入れを拡大する改正入管難民法の施行(4月)を控え、国際医療ボラ

ンティアAMD A(岡山市)などは20日、県内でも増えているベトナム人技能実習生の健康をサポートする事業を3月から始めることを明らかにした。

医療人材の育成などに取り組む一般財団法人・国際医療貢献プラットフォーム(代表理事・菅波茂AMD A代

表)が、同市内で開いた初の「日越国際シンポジウム」で示した。

地域で孤立しがちな技能実習生に安心感を与え、草の根で支援する狙い。

事業は、AMD Aと

岡山済生会総合病院(同)、実習生を企業に紹介する監理団体「アイ・エイチ・ディ協同組合」(倉敷市)を中

心とする世話人会で運営。心身の不調を訴える実習生から相談を受け、同病院やベトナムの軍病院に仲介する。

AMD Aなどによると、厳しい労働環境に耐えかね、逃亡したり、罪を犯したりする技能実習生もおり、今後、賛同者を増やすことで、実習生を地域で見守るネットワークを目指すという。

菅波代表は「地域経済を支える実習生を見放さない体制を整えれば、岡山が外国人労働者に選ばれるようになる」と話した。

(山内悠記子)



ベトナム人技能実習生の健康サポート事業の説明などがあったシンポジウム